

1-4 資本主義経済の発展と民主主義の展開 <基礎編>

資本主義経済とは何だろうか？

資本主義経済とは

人間社会において、生活に必要な財（物品）やサービス（労務）【①】を生産し流通し消費する営みを**経済**という。その意味では、私たち一人ひとりの生活が経済そのものである。しかし通常「経済」という場合には、国や地方自治体や国際社会における経済活動を意味することが多い。

現代の日本社会における経済は「**資本主義経済**」とよばれる仕方で営まれている。「資本」とは利潤を生む財産のことで、土地・建物・巨額の資金などをいう。また多額の資本をもち会社を経営する人々を「資本家」という。いっぽう資本をもたず、資本家に雇われて働き、その賃金で生活する人々を「労働者」という。経済学的な言い方をすれば「労働者は労働力を商品として売って生活している」存在である。

資本主義経済においては、生活に必要な物やサービスの生産・流通は、「より多くの利潤の獲得」を究極の目的とする民間企業（会社）が担う。そのために民間企業は、他の同業の企業と競争して、より良い商品をより安価に大量生産し大量販売しようと努める（逆に、利潤の見込みのない商売からは撤退する）。このような**自由競争**の結果、資本家は多くの利潤を獲得すると同時に、その副産物として社会も豊かになっていく。これが資本主義経済のプラスの面である。

資本主義経済の修正

しかし利潤の獲得を最優先にする企業活動は、経費削減のために労働者をなるべく安価な賃金で長時間働かせることにつながる。また「利潤獲得のためにはどんな悪徳な手法を使ってもよい」という風潮を生みやすい。このようなことが社会にはびこると、人々は人間らしい生活を安心して営むことができなくなる。これが資本主義経済のマイナスの面である。

このマイナス面を克服するために、19世紀には**社会主義**や**共産主義**の考え方が生まれた【②】。また資本主義経済をとる国でも、現代においては、政府が経済活動に介入して、民間企業の競争に一定の**規制**を加えたり、政府自身が経済活動をおこなうことによって、民間企業だけに任せておけない部分を補っている。このような現代型の資本主義経済を「**修正資本主義経済**」と呼ぶ。

①サービスとは、例えば旅客や貨物の運搬、医療・美容・芸能・金融サービスなどのことである。

②広義の社会主義のうち、マルクスが確立した社会主義思想を特に共産主義と呼ぶ。

共産主義は、労働者の革命によって、利潤追求を目的とする民間企業を否定し、生産手段（土地・建物・資本など）を社会の共有として、国営企業や公営企業の公共サービスを中心とする経済体制をめざす。

その他の社会主義思想は、社会改良運動や議会政治による漸進的変革をめざす。